

郵便局たんけん&絵手紙教室 in 西予郵便局

平成27年6月27日

TOSS愛媛

平成二十七年六月二十七日、西予市「西予郵便局」にて、「郵便局たんけん&絵手紙教室」が開催されました。主催は「TOSS大洲」、共催は「西予郵便局」です。小学生十九名、保護者十一名を迎え、盛大に開催されました。

亀山局長の御挨拶



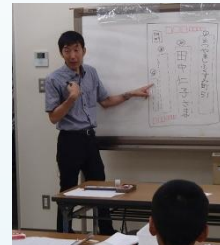
開会にあたり、西予郵便局の亀山局長から御挨拶をいただきました。

「絵手紙を楽しんでかいてください」「奥には、郵便局の秘密がたくさんあるので、郵便局探検を楽しみにしてください」「保護者の方には、郵便局を身近に感じてほしい」などと、参加した子どもたちや保護者の方々に語りかけられました。

宛名、はがきの書き方

はがきの書き方の型紙を使って、宛名や相手の住所の書き方を勉強しました。相手の名前や住所をどこに書けばよいかを確認したあと、子どもたちは実際にはがきに宛名を書きました。

はがきの裏面に移ります。今回は、絵手紙の創始者である小池邦夫氏公認講師の田中先生、その田中先生のお弟子さんである岡井先生から、絵手紙のかき方を教えていただきました。



まずは、絵手紙をかくためのウーミングアップです。筆の上の方をもって、縦や横の線、うずまきなどをかきます。かたつむりくらのスプードで、ゆっくりゆっくり先生の筆が進んでいきます。子どもたちも、先生と同じように、集中してウーミングアップを行いました。その後、実際に絵手紙をかきました。持ってきた野菜や果物をよく見ながら、かたつむりの線でゆっくりゆっくり筆を進めていきます。どの子の表情も真剣そのものです。絵手紙を届けた相手のお返事を考えながら、気持ちをこめてかいていきます。



また、南予では、西予郵便局だけに設置されている高速区分機を見せられました。この区分機は、一時間で四万通もの郵便物を流すということです。



をよよく見ながら、かたつむりの線でゆっくりゆっくり筆を進めていきます。どの子の表情も真剣そのものです。絵手紙を届けた相手のお返事を考えながら、気持ちをこめてかいていきます。

絵手紙は、決して誰かと比べるものではありません。「気持ちをこめてかく」、「真心を相手に届ける」のが絵手紙です。

なすびの絵といっしょに添えられた「元気でいてね」、りんごの絵に添えられた「大好きなおばあちゃん」など、目いっぱい真心が込められた、素敵な絵手紙がたくさんできました。



郵便局たんけん

郵便局からいただいた切手を貼って、完成した絵手紙をポストに投函しました。その後、ポストからはがきを回収します。そのとき、ポストの中も見せてもらいました。回収されたはがきには、観音水と開明学校が描かれた風景印を押してもらいました。

また、南予では、西予郵便局だけに設置されている高速区分機を見せられました。この区分機は、一時間で四万通もの郵便物を流すということです。

子どもの感想

瞬く間に目の前を通過していく郵便物を見た子どもたちからは、「わー」という感嘆の声があがりました。子どもたちだけでなく、いっしょに来られた保護者の方もびっくりされていました。



■絵手紙をかくとき、筆の先っぽの方をもってかいたのが難しかったです。(二年生) ■高速区分機で四万通も分けることができました。のがすごいなと思いました。(四年生) ■絵手紙をかいたり、郵便局の探検をしたりして楽しかったです。また来たいです。(三年生)

保護者の感想

■絵手紙を、身近に感じるようになりました。ありがとうございました。(三年生保護者) ■絵手紙をかくのは初めてでしたが、子どもが上手にかいている姿を見ることができてよかったです。メールでのやりとりが多い時代ですが、手紙の大切さがよくわかりました。勉強になりました。(三年生保護者)



